

達成度：H29.3.31の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
 4 目標を概ね達成した。
 3 目標を一部達成した。
 2 目標をほとんど達成できなかった。
 1 目標をまったく達成できなかった。

学校教育課の目標（平成28年度）自己評価書

学校教育課長 猪鼻 慎二

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 児童生徒の個性を生かす教育と生き生きとした学校生活の創造</p> <p>(1) 創意ある教育課程を推進するために、各校の課題を明確にして授業改善に取り組んだり、少人数指導によるきめ細かな対応を実践したりすることによって、学力の向上に努めます。</p> <p>(2) 保育園と小学校とのふれあい交流や小学校と中学校間の学習の継続性を推進することや小中で共通した基本的生活習慣の指導に取り組むことによって、保小中が連携して一貫性のある指導を実践します。</p> <p>(3) 文科省の指定を受けて授業を公開する酒々井小学校の活動を町全校で支援することによって、人権・同和教育や道徳教育の推進に努めます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>創意工夫された授業を行い、算数・数学においては少人数学習を行い、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことができました。</p> <p>保小中学校連携指導によって、基本的な生活習慣や生徒指導上の課題も共有し、一貫性のある指導が推進できました。</p> <p>文科省研究指定の人権教育研究は、全国に向けて授業公開し、多くの教職員の参観がありました。また、道徳授業では、考え深める道徳授業の実践がなされました。</p>
<p>2 社会の変化に対応した学校教育の推進</p> <p>情報化や国際化に対応して、ICT機器の活用・ALTの活用・国際交流派遣事業を積極的に推進し、広い視野から思考して協働するためのコミュニケーション能力を養います。</p>	<p>4</p>	<p>社会のグローバル化に対応する人材を育成するため、コンピューター学習とともに英語学習を推進し、英語力の育成、コミュニケーション能力の向上、異文化理解の深化につながりました。</p>
<p>3 教職員の資質や指導力の向上</p> <p>(1) 不祥事根絶に向けて、具体的な事例を基に指導して教職員に周知徹底させることによって、高い倫理観の意識を継続させます。</p> <p>(2) 道徳や小学校外国語活動の教科化に向けて準備を進める中で、課題を発見し解決することを通して、教職員の指導力を高めます。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>各学校でコンプライエンス意識の向上を目指し、モラルアップ研修を充実できました。</p> <p>新しい学習指導要領の研修と共に、少しずつ教職員の授業改善も図られ、指導力も高まっています。</p>

<p>4 教育条件の整備</p> <p>「豊かな心を育むCTSプラン事業」や「教職員の特色ある教育活動支援事業」を通して、各学校の特色ある教育を支援することが、児童生徒の成長につながり、ひいては対外的な魅力を発揮できるように高めていきます。</p> <p>5 チャレンジ目標</p> <p>(1) 千葉県的人事評価制度（目標申告と業績評価）の実施に際し、適切な運用がなされるよう各校に指導し、評価が業務に反映するように意識を高めます。</p> <p>(2) 教員免許の更新について、受講漏れや申請不備がないよう各校に指導します。</p> <p>(3) 中学生の英語検定を積極的に支援し、英語教育の推進に努めます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>「豊かな心を育むCTSプラン事業」では、各学校の特色ある教育実践を推進し、「教職員の特色ある教育活動支援事業」では、教職員の工夫ある研究を推進できました。</p> <p>人事評価制度の適切な運用を進める中で、その必要性や課題も理解できています。今後はさらに合理的な実施を目指します。</p> <p>各教職員が、それぞれの教職履歴に応じた研修と更新手続きを進めることができました。</p> <p>中学校3年生に検定料を補助する「パワーアップE」事業によって、多くの生徒が英語検定を受験できました。</p>
--	-------------------------------------	--